

年間指導計画表(シラバス)

科目名	現代の国語	単位数	2
		学年等	4年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：『高等学校 現代の国語』（第一学習社） 副教材：『三訂版 プログレス現代文総演習 標準編』（いっずな書店） 『現代の国語の基礎学習』（尚文出版） 『ココから始める！評論文読解ノート』（数研出版） 『漢字マイスター頻出漢字熟語 3000』（第一学習社） 『読解を深める現代文単語』（桐原書店） 『完成日本文学史ノート三訂増補版』（京都書房）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。 ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 カ 比喩、例示、言い換えなどの修	(1) 話すこと・聞くこと ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 イ 自分の考えが的確に伝わるように、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行な	(1) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。 (2) 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

	辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けている。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ウ 推論の仕方を理解し使っている。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。 ア 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。	ど話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 (2) 書くこと ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 (3) 読むこと ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	『生きもの』として生きる(中村桂子) 言語活動「話し方の工夫」相手・目的・場面(研究計画発表会に向けて) 「羅生門」(芥川龍之介) 言語活動「実用的な手紙文の書き方」(探究における実験・調査の依頼文の作成)	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、話し合い、報告、討論、報告書、論述、要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート

	『『本当の自分』幻想』(平野啓一郎) 『ものごとことば』(鈴木孝夫)			
	評価点	200	200	200
2 セメ	「夢十夜」(夏目漱石) 言語活動「魅力を紹介する」(本の帯の作成) 「間の感覚」(高階秀爾) 「不均等な時間」(内山節) 言語活動「社会に対する意見文を書く」(小論文対策) 「城の崎にて」(志賀直哉)	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、話し合 い、報告、討論、報 告書、論述、要約、 発表等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	言語活動「話し方の工夫」相手・目的・場面(研究計画発表会に向けて)	6
	5	『『生きもの』として生きる』(中村桂子)	5
	6	「羅生門」(芥川龍之介)第1回考査	8
	7	言語活動「実用的な手紙文の書き方」(探究における実験・調査の依頼文の作成)	6
	8	『『本当の自分』幻想』(平野啓一郎)	3
	9	「ものごとことば」(鈴木孝夫)第2回考査	7
2セメ	10	「夢十夜」(夏目漱石)	7
	11	言語活動「魅力を紹介する」(本の帯の作成) 「間の感覚」(高階秀爾)第3回考査	6
	12	「不均等な時間」(内山節)	6
	1	言語活動「社会に対する意見文を書く」(小論文対策)	6
	2	「城の崎にて」(志賀直哉)	8
	3	第4回考査	2

5 その他

- 「現代の国語」では文章を読むだけでなく、書く・話すなどの活動も行います。積極的に自身の考えを述べ、互いの意見を交流させながら、学びを深めていきましょう。スピーチや話し合いなどの言語活動も評価の対象になります。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	言語文化	単位数	3
		学年等	4年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：『高等学校 言語文化』（第一学習社） 副教材：『九訂版 読解をたいせつにする体系古典文法』（数研出版） 『読んで見て聞いて覚える重要古文単語 315』（桐原書店） 『読んで見て聞いて覚える古文攻略マストアイテム 76』（桐原書店） 『三訂版 体系漢文』（数研出版） 『完成日本文学史ノート三訂増補版』（京都書房） 『三訂版 プロGRESS 古典総演習 基本編』（いづな書店） 『言語文化の基礎学習』（尚文出版） 『三訂版 古典文法習得のための助動詞マスターノート』（数研出版） 『改訂版 古典文法習得のための敬語マスターノート』（数研出版） 『改訂版 古文用言・漢文書き下しマスターノート』（数研出版） 『改訂版 漢文句法マスターノート』（数研出版）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。 ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技	(1) 書くことに関する次の事項を身に付けている。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 (2) 読むことに関する次の事項を身に付けている。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容	・言葉がもつ価値への認識を深めている。 ・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

	法とその効果について理解している。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。 ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 オ 言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 カ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。	を解釈している。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	○説話 『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」 ○随筆 『徒然草』 「丹波に出雲といふ所あり」 ○故事成語 「狐借虎威」 ○歌物語 『伊勢物語』『芥川』『東下り』 ○史伝 「完璧」	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200
2 セメ	○日記 『土佐日記』『門出』	・定期考査等 ・小テスト	・定期考査等 ・論述、要約、レポート	・振り返りシート ・授業中の行動観察

○近現代の詩歌 ○古典の詩歌 ○史伝 「先従隗始」 ○随筆 『枕草子』『中納言参りたまひて』 ○唐詩 「春暁」「江雪」等	・ワークシート	ート等	・ワークシート
評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	○説話 『宇治拾遺物語』『絵仏師良秀』	9
	5	○随筆 『徒然草』『丹波に出雲といふ所あり』 ・助動詞	7
	6	○故事成語 「狐借虎威」 ・故事成語の由来と意味 ・漢文訓読の基本(返り点、書き下し文等)	12
	7	第1回考查	9
	8	○歌物語 『伊勢物語』『芥川』『東下り』 ・和歌の基本	5
	9	○史伝 「臥薪嘗胆」第2回考查	10
2セメ	10	○日記 『土佐日記』『門出』	10
	11	・日記文学の歴史 ○史伝 「先従隗始」第3回考查	9
	12	○随筆 『枕草子』『中納言参りたまひて』 ・敬語	9
	1	○近現代の詩歌 ・短歌を作る	9
	2	○古典の詩歌 『古今和歌集』	12
	3	○唐詩 「春暁」「江雪」等 ・中国の詩歌・詩人第4回考查	4

5 その他

- 「言語文化」の授業では小説や詩歌などの文学作品、古文、漢文などを読みます。古文単語や漢文の語彙を調べる必要があるため辞書は必須です。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	歴史総合	単位数	2
		学年等	4

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。
使用教科書 副教材等	教科書 「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」 山川出版社 副教材 「明解歴史総合図説 シンフォニア 最新版」 帝国書院 副教材 「現代の歴史総合みる・読みとく・考えるノート」 山川出版社

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	歴史の扉 [第Ⅰ部 近代化と私たち] 第1章 結びつく世界と日本の開国 第2章 国民国家と明治維新 [第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち] 第3章 総力戦と社会運動 第4章 経済危機と第二次世界大戦	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・討論、要約、発表等	・単元シート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200
2 セメ スタ	第4章 経済危機と第二次世界大戦 [第Ⅲ部 グローバル化と私たち] 第5章 冷戦と世界経済 第6章 世界秩序の変容と日本	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・討論、要約、発表等	・単元シート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	歴史の扉 [第Ⅰ部 近代化と私たち] 第1章 結びつく世界と日本の開国	2 8
	5	1 18世紀の東アジアにおける社会と経済 2 貿易が結んだ世界と日本 3 産業革命	
	6	4 中国の開港と日本の開国 第1回考査 単元シートを評価	
		第2章 国民国家と明治維新 1 市民革命 2 国民国家とナショナリズム	9
	7	3 明治維新 4 日本の産業革命 5 帝国主義 6 変容する東アジアの国際秩序 7 日露戦争と東アジアの変動	
		[第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち] 第3章 総力戦と社会運動 1 第一次世界大戦の展開 2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制	9
	8	4 世界経済の変容と日本 5 アジアのナショナリズム 6 大衆の政治参加 7 消費社会と大衆文化	
	9	第4章 経済危機と第二次世界大戦 1 世界恐慌の時代 第2回考査 単元シートを評価	1
		第4章 経済危機と第二次世界大戦 2 ファシズムの伸長と共産主義 3 日中戦争への道 4 第二次世界大戦の展開 5 第二次世界大戦下の社会 6 国際連合と国際経済体制 7 占領と戦後改革	10
	10	8 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 9 日本の独立と日米安全保障条約 [第Ⅲ部 グローバル化と私たち] 第5章 冷戦と世界経済 1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化 第3回考査 単元シートを評価	9
2 セメ スタ	11	2 東西両陣営の動向と1960年代の社会	

	12	3 軍拡競争から緊張緩和へ 4 地域連携の形成と展開 5 計画経済とその波及 6 日本の高度経済成長 7 アジアのなかの戦後日本 第6章 世界秩序の変容と日本	12
	1	1 石油危機 2 アジア諸地域の経済発展 3 市場開放と経済の自由化 4 情報技術革命とグローバリゼーション	
	2	5 冷戦の終結とソ連の崩壊 6 現代の東アジア 7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 8 地域統合の拡大と変容 9 地域紛争と国際社会 10 現代と私たち	
	3	第 4 回 考 査 単元シートを評価	

5 その他

【課題・提出物など】 ◎副教材の提出 ◎単元シートの提出 ◎授業プリントの提出 【各考查成績の評価方法】 ①活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度) ②上記課題等の提出(知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度) ③小テスト, 第 1 回～第 4 回 考 査, 評価問題など(知識・技能, 思考・判断・表現)

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ	単位数	数学Ⅰ(1)・数学Ⅱ(1) 数学Ⅲ(2)・数学Ⅳ(1)
		学年等	4年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 数学Ⅰ (1)数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 数学Ⅱ (1)いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 数学Ⅲ (1)図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
-------------	--

	数学 B (1)数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活とのかかわりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に着けるようにする。 (2)離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の家庭や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
使用教科書 副教材等	使用教科書:数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B (数研出版) 傍用問題集:サクシード数学Ⅰ+A , サクシード数学Ⅱ+B(数研出版) 副教材:チャート式 基礎からの数学Ⅰ+A 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・数と式, 図形と計量, 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し, 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力, 図形の構成要素間の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 社会の事象などから設定した問題について, データの散らばりや変量間の関係などに着目し, 適切な手法を選択して分析を行い, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。 ・数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力, 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見いだし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見いだし, 数理的に考察する力を身に付けている。 ・離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。

		注目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に着けている。	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	数学Ⅰ 数と式・図形と計量・二次関数・ データの分析(既習事項の復習) 数学A 図形の性質・場合の数と確率・ 数学と人間の活動(既習事項の復習) 数学Ⅱ いろいろな式 図形と方程式	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 LISI ゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCA シート の記述分析
		200	200	200
2セ メ	数学Ⅱ 指数関数・対数関数 三角関数 微分・積分の考え 数学B 数列 統計的な推測	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 LISI ゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCA シート の記述分析
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	数学Ⅰ・数学Aの中高一貫教育校の特例を用いた既習事項の復習	15
	5	数学Ⅱ いろいろな式 第1回考査(LISI ゼミ①)	20
	6	数学Ⅱ 図形と方程式	20
	7		12
	8	数学Ⅱ 指数関数・対数関数	4
	9	 第2回考査(LISI ゼミ②)	20
2セメ	10	数学Ⅱ 三角関数	15
	11		20
		数学Ⅱ 微分・積分の考え 第3回考査(LISI ゼミ③)	
	12	数学B 数列	15
	1		15
	2	数学B 統計的な推測	15
	3	 第4回考査(LISI ゼミ④)	4

5 その他

- 詳細や変更点などは別途配布する「対応表」で確認すること。
- 考査ごとに探究学習(LISI ゼミ)を行います。
- ICT の活用も一部で行います。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理基礎	単位数	2
		学年等	4

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	物体の運動、様々な物理現象とエネルギーの関わりを、さまざまな物理量、図法を用いて解析し、自然を物理法則と物理的な手法により理解することを目指し、以下の資質・能力を育成する。 (1)加速度、力、仕事、エネルギーなど、直観ではつかめない、目に見えないものを、物理量の定義により理解する。 (2)物理法則を学び、図を描いて物理量の関係を把握し、数式による方程式を立式して解を求めることができる。 (3)物理現象を観察し、実験を企画することで、物事を科学的に探究する資質・能力を身に付ける。		
使用教科書 副教材等	教科書	「高等学校 物理基礎」第一学習社	
	副教材	「セミナー物理基礎+物理」第一学習社	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	事物、現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、それを知識として身につけているか。実験では正しい方法で物理計測ができ、レポートに結果をまとめることができるか。テストでは知識、概念の理解、及び実験技能の習得状況について評価するための問題を出題する。	文章、図表から物理的状況を把握し、物理法則から方程式を導き、解を求めてその物理的な解釈ができるか。思考をすすめるために適切な図が描けるか。物理的な問題を解決し、正しく表現できるか。これらを、テストによって評価する。	物理現象に対する関心、理解しようとする意欲があるか。学習態度を中心に、演習ノート等の作成状況、身近な物理現象についての文章を作成させるレポートなど提出物の状況を評価する。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	〔第1編 運動とエネルギー〕 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	考查・課題テスト 小テスト	学習態度 演習ノート レポート 提出物
	評価点	200	200	200
2 セメ スタ	第3章 仕事と力学的エネルギー 〔第2編 熱〕第1章 熱とエネルギー 〔第3編 波〕〔第4編 電気〕 〔第5編 物理学と社会〕	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	考查・課題テスト 小テスト	学習態度 演習ノート レポート 提出物
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	〔第1篇 運動とエネルギー〕 第1章 運動の表し方	34
	5	運動の表し方についての実験 実験レポートを評価 身の回りの運動についてのレポートを課し、評価	
	6	第1回考査 運動の表し方について出題 演習ノート进行评估	
	7	放物運動について発展的に学習	
	8	第2章 運動の法則 運動の法則についての実験 実験レポートを評価 身の回りの力についてのレポートを課し、評価	
	9	第2回考査 運動の法則について出題 演習ノート进行评估	
2 セメ スタ	10	第3章 仕事と力学的エネルギー 仕事とエネルギーについての実験 実験レポートを評価 身の回りの力学についてのレポートを課し、評価	36
	11	第3回考査 運動の法則・仕事と力学的エネルギーについて出題 演習ノート进行评估	
	12		
	1	〔第2編 熱〕第1章 熱とエネルギー 熱とエネルギーについての実験 実験レポートを評価 熱とエネルギーについてのレポートを課し、評価	
	2	第4回考査 熱とエネルギーについて出題 演習ノート进行评估	
	3	〔第3編 波〕 〔第4編 電気〕 〔第5編 物理学と社会〕	

5 その他

- ・授業では物理量の定義、法則を理解して典型的な物理系を理解することに多くの時間を配分する。
- ・生徒間で協働する場面を多数設定するので、積極的に活動し、新しい学力を身に付けること。
- ・生徒実験や、演示実験を観察した際に実験レポートを課す。これらはa. 知識・技能において評価する。
- ・小テスト、課題テスト、考査の成績をもとに、粘り強く計画的に学習する力を評価する。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	2
		学年等	4 年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	生物や生命現象に関わり, 理科の見方・考え方を働かせながら, 見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して, 生物や生命現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。
使用教科書 副教材等	教科書: 高等学校 生物基礎(第一学習社) 資料集: スクエア 最新図説生物 neo(第一学習社) 問題集: 2024 セミナー生物基礎(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	- 日常生活や社会との関連を図りながら, 生物や生命現象について理解したか。 - 生物学的に探究するために必要な, 観察・実験などに関する基本的な技能を身につけたか。	- 観察・実験などを行うために, 情報収集・仮説の設定・実験の計画などを行う力を身につけたか。 - 実験結果の分析・解釈・推論など探究の方法を習得したか。 - レポートの作成や発表を通して, 自らの考えを表現できたか。	- 生物や生命現象に対して, 主体的に関わり, そこから生じる課題を解決しようとする態度などを養えたか。 - 生命を尊重し, 自然環境の保全に寄与する態度などを養えたか。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	【第 1 編】 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 【第 2 編】 ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節	・定期考査 ・課題テスト ・単元テスト ・課題等の提出物	・定期考査 ・課題テスト ・単元テスト ・実験レポート等の提出物	・各種テストへの取組姿勢 ・各種提出物 ・学習活動全般
	評価点	200	200	200
2 セメ	【第 2 編】 ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節 【第3編】 生物の多様性と生態系 第4章 植生と遷移 第5章 生態系とその保全	・定期考査 ・課題テスト ・単元テスト ・課題等の提出物	・定期考査 ・課題テスト ・単元テスト ・実験レポート等の提出物	・各種テストへの取組姿勢 ・各種提出物 ・学習活動全般
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ 前半	4 5 6	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性 ・生物は多様でありながら共通性をもっていることを、見出して理解する。 第2節 生物とエネルギー ・生命活動にエネルギーが必要であることを、代謝とATPを関連付けて理解する。 ○ 第1回考査	16
1 セメ 後半	6 7 8 9	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子の本体とその構造 ・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を、見出して理解する。 第2節 遺伝情報とタンパク質 ・DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を、見出して理解する。 第3章 ヒトのからだの調節 第1節 情報の伝達と体内環境の維持 ・実験などを通して、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを、見出して理解する。 ○ 第2回考査	18
2 セメ 前半	9 10 11	第3章 ヒトのからだの調節 第2節 免疫 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを、見出して理解する。 第4章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 ・資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解する。 ○ 第3回考査	16
2 セメ 後半	11 12 1 2 3	第4章 植生と遷移 第2節 バイオーム ・植生の遷移を、バイオームと関連付けて理解する。 第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 ・生物の種多様性と生物間の関係性を、関連付けて理解する。 第2節 生態系のバランスとその保全 ・資料に基づいて、生態系のバランスと人為かく乱とを、関連付けて理解する。 ○ 第4回考査 総復習	20

5 その他

- ・学校行事等の関係で、時間数や学習内容の変更もあります。
- ・課題テストを実施できない学期もあります。
- ・一部の単元で、ICTの活用を行うことを検討します。
- ・実験レポートを含め、各種の提出物の提出の有無や内容を、しっかりと評価します。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育(男子)	単位数	3
		学年等	4 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店)、Active Sports 総合版(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメスター	【体育実技】 ○体づくり運動 ・ラジオ体操、集団行動 ・シャトルラン ○球技 ・バレーボール ○器械体操 ・マット運動 ○陸上競技 ・投てき(円盤投げ) ○体育理論 体育編 1 単元 スポーツの発祥と発展 1. スポーツの始まりと変遷 2. 文化としてのスポーツ 3. オリンピックとパラリンピックの意義	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		100	100	100
	○球技 ・ソフトボール ○球技	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント

	・ハンドボール ○陸上競技 ・長距離走 ○球技 ・サッカー ○体育理論 体育編 1 単元 スポーツの発祥と発展 4. スポーツが経済に及ぼす効果 5. スポーツの高潔さとドーピング 6. スポーツと環境	筆記テスト(体育理論)		
		100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	○体づくり運動 ・ラジオ体操 ・シャトルラン	50
	5	○球技	
	6	・バレーボール	
	7	○器械体操 ・マット運動	
	8	○陸上競技	
	9	・投てき(円盤投げ)	
		○体育理論 体育編 1 単元 スポーツの発祥と発展 1. スポーツの始まりと変遷 2. 文化としてのスポーツ 3. オリンピックとパラリンピックの意義	
2 学期	10	○球技	55
	11	・ソフトボール	
	12	○球技 ・ハンドボール	
	1	○陸上競技 ・長距離走	
	2	○球技	
	3	・サッカー	
		○体育理論 体育編 1 単元 スポーツの発祥と発展 4. スポーツが経済に及ぼす効果 5. スポーツの高潔さとドーピング 6. スポーツと環境	

5 その他

・ICT 機器等も活用しながら授業を展開していく。 ・グループ活動や生徒同士の協同学習の場面も積極的に取り入れながら授業を行い、活動への参加姿勢も評価の対象とする
--

る。

- ・種目ごとに学習プリントを提出させ、その都度、評価していく。
- ・実技種目への参加姿勢、授業での取り組みを総合して評価していく。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育(女子)	単位数	3
		学年等	4 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店)、Active Sports 総合版(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セ メス ター	【体育実技】 ○体づくり運動 ・ラジオ体操、集団行動 ・シャトルラン ○陸上競技 ・走り幅跳び ・ターボジャブ ○球技 ・バレーボール ○体育理論 体育編 1 単元 スポーツの発祥と発展 1. スポーツの始まりと変遷 2. 文化としてのスポーツ 3. オリンピックとパラリンピックの意義	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		100	100	100
2セ メス ター	○ダンス ・創作ダンス ○球技 ・バドミントン	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント

	○陸上競技 ・長距離走 ○球技 ・バスケットボール ○体育理論 体育編 1 単元 スポーツの発祥と発展 4. スポーツが経済に及ぼす効果 5. スポーツの高潔さとドーピング 6. スポーツと環境	論)		
		100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	○体づくり運動 ・ラジオ体操 ・シャトルラン	50
	5	○陸上競技	
	6	・走り幅跳び ・ターボジャブ	
	7	○球技	
	8	・バレーボール	
	9	○体育理論 体育編 1 単元 スポーツの発祥と発展 1. スポーツの始まりと変遷 2. 文化としてのスポーツ 3. オリンピックとパラリンピックの意義	
2 学期	9	○ダンス	55
	10	・創作ダンス	
	11	○球技	
	12	・バドミントン	
	1	○陸上競技 ・長距離走	
	2	○球技 ・バスケットボール ○体育理論 体育編 1 単元 スポーツの発祥と発展 4. スポーツが経済に及ぼす効果 5. スポーツの高潔さとドーピング 6. スポーツと環境	

5 その他

- ・ICT 機器等も活用しながら授業を展開していく。
- ・グループ活動や生徒同士の協同学習の場面も積極的に取り入れながら授業を行い、活動への参加姿勢も評価の対象とする。
- ・種目ごとに学習プリントを提出させ、その都度、評価していく。

・実技種目への参加姿勢、授業での取り組みを総合して評価していく。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1
		学年等	4年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	個人及び社会生活における健康や安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につける。
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。 保健に関する知識や現代社会に関する健康問題・環境問題について例を挙げて説明することができる。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。 保健に関する知識や情報について、理解したことを言ったり書いたりしている。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。 保健に関する様々な課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セ メス ター	【保健編1 現代社会と健康】 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復	・確認テスト ・第2回考査 知識・理解に関する問題	・授業プリント(ノート) ・第2回考査 思考・判断・表現に関する問題	・授業観察 ・学習プリント
		50	50	50
2セ メス ター	【保健編1 現代社会と健康】 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択	・確認テスト ・第4回考査 知識・理解に関する問題	・授業プリント(ノート) ・第4回考査 思考・判断・表現に関する問題	・授業観察 ・学習プリント

	健康に関する環境づくり 【保健編2 安全な社会生活】 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法			
		50	50	50

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ スタ ー	4 5 6 7 8・9	【保健編1 現代社会と健康】 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 ○第2回考査	17
2セメ スタ ー	10 11 12 1 2 3	【保健編1 現代社会と健康】 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 【保健編2 安全な社会生活】 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 ○第4回考査	18

5 その他

- ・ICT 機器等も活用しながら授業を展開していく。
- ・グループ活動や生徒同士の協同学習の場面も積極的に取り入れながら授業を行い、活動への参加姿勢も評価の対象とする。
- ・授業ごとにノートや学習プリントを提出させ、その都度、評価していく。
- ・第 2・4 考査と、授業での取り組みを総合して評価していく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽 I	単位数	2 単位
		学年等	1 年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
使用教科書 副教材等	MOUSA(ムーサ) 教育芸術社、単元に応じてワークシートを配付

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セ メ	〔歌唱〕斉唱、独唱、合唱	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	50 点	50 点	50 点
	〔器楽〕ヴァイオリン、三味線	実技テスト 発表 ワークシート記述	実技テスト 発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	50 点	50 点	50 点
2 セ メ	〔創作〕編曲、作曲	発表 ワークシート記述 作品提出	ワークシート記述 作品提出	行動観察 ワークシート記述
	評価点	50 点	50 点	50 点
	〔鑑賞〕音楽史、管弦楽	ワークシート記述	発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔歌唱〕 校歌(斉唱)、魔法みたいに、O`sole mio、Tonight ・バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を理解し、曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。	8
	5		8
	6	野ばら(合唱) ・ドイツ語の発音やその強弱によるリズムや旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。	8
	7	◆----- 〔器楽〕 ヴァイオリン、三味線	6
	8	きらきら星、カノン、喜びの歌、さくらさくら ・楽器の構造、奏法を学び、旋律の動きや余韻の変化などを理解し、楽器の特徴を生かして演奏する。	6
	9		6
		◆-----	
後期	10	〔創作〕 iPad を用いて校歌の編曲 ・進行について理解し、伴奏を自分のイメージに合わせて編曲する。	8
	11	・循環進行に合わせて旋律を作り、音素材を活用して自分のイメージしている曲想にし、発表する。	6
	12	◆-----	4
		〔鑑賞〕	
	1	ウエストサイドストーリー ・作品のテーマとなっているアメリカの社会問題を理解し、登場人物の心情を感じ取る。	4
	2	交響詩 魔法使いの弟子 ・作品に影響を与えたゲーテの詩「魔法使いの弟子」を読み、情景を浮かべながら曲を鑑賞し、登場する人や物、物語のシーンがどのように音楽で表現されているかについて、考察する。	4
	3		2

5 その他

- 1日に2時間連続で授業があります。
- 定期考査は実施しませんが、単元ごとに実技テスト、発表を行います。
- 進学で音楽が必要な人は必ず申し出て下さい。
- 創作の授業では必ず iPad が必要になります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術 I	単位数	2 単位
		学年等	4 年生選択者

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：美術 1(光村図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	素描 表現・鑑賞 絵画 表現・鑑賞 デザイン工芸 表現・鑑賞 デザイン基礎 表現・鑑	ワークシート 作品	アイディアスケッチ 作品 ワークシート	授業態度 作品 ワークシート 講評会
	評価点	100 点	100 点	100 点

2 セメ	デザイン応用 表現・鑑賞 彫刻 表現・鑑賞 絵画 表現・鑑賞 映像メディア表現 鑑賞	ワークシート 作品	アイディアスケッチ 作品 ワークシート	授業態度 作品 ワークシート 講評会
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ	4	素描 表現 静物画…野菜や果物など身近な静物を描く。必要に応じて着彩の練習をする。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	4
	5	絵画 表現 風景スケッチ…身近な風景をスケッチで描く 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	2
	6	絵画 表現 アクリル風景画…身近な風景をアクリル絵の具で描く。	13
	7	鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	
	8	デザイン工芸 表現 紙立体とコラージュ装飾…紙で箱作りの造形を実施する。資料や描いた作品をコラージュ(貼り付け)し、モダンアートのテクニックを取得する。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	10
	9	デザイン基礎 表現 ジブリ作品を含むイラストレーションのアイディアスケッチをする。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	6
2 セメ	10	デザイン応用…表現 ジブリ作品模写の原画作成と着彩をする。 鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	8
	11	彫刻 表現 紙粘土を素材としたキャラクターの造形表現と着彩をする。	13
	12	鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	
	1	絵画…表現 自由な発想の油絵…静物や風景、空想画や抽象画など自由な発想の作品を制作する。	12
	2	鑑賞 講評会を実施し、授業の振り返りをする。	
	3	映像メディア表現 鑑賞 日本や世界のアニメーションの紹介や観賞…ICT を活用	2

5 その他

各題材の取り組み状況と到達度および提出状況また講評会やワークシート・学習プリントなどを参考にし、それぞれ3つの観点を得点化し、総合的に評価する。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道 I	単位数	2
		学年等	4

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
使用教科書 副教材等	38 光村 書 I 705

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自分で考え、工夫した空間の処理方法や表現方法を使い、筆と墨を効果的に使うことで、自分自身の本来表現したかったものに、どの位近づくことができたかを評価します。 客観的に作品に対して向き合えたか、自分自身を見つめ直すことができたか、作品制作を通して変化した部分を評価材料とします。	書く題材をもとに、より良い作品を創るためにどういった表現を工夫するべきかを考え、筆遣い・墨継ぎ・かすれ・強調したいポイント等を押さえた上で書かれた作品かを評価します。	各作品の完成度、作品制作に対する取り組み姿勢から評価します。さらに制作にあたっての授業道具の準備、片付けなど周りの人や次の人への配慮なども評価の対象とします。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

セメ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 前	①漢字の書 文字の造形を学ぶ<臨書> 楷書	作品提出 ファイル プリント	作品提出 プリント	作品提出 振り返りシート
	150	50	50	50
1 後	①漢字の書 文字の造形を学ぶ<臨書> 行書、草書、隸書、篆書 大きな作品を書く	作品提出 ファイル プリント	作品提出 プリント	作品提出 振り返りシート
	150	50	50	50
2 前	②仮名の書 「いろは」字源を考えて書く ③漢字かな交じり書 構成の学習 作品制作	作品提出 ファイル プリント	作品提出 ファイル	作品提出 振り返りシート
	150	50	50	50

2 後	③漢字かな交じり書 自分の言葉で表現する ④漢字の書 「1字創作」好きな文字を表現する	作品提出 ファイル プリント	作品提出 ファイル	作品提出 振り返りシート
	150	50	50	50

4 指導の計画

セメ	月	単元及び学習内容		時数
1 前	4	書道とは	用具・筆の持ち方を理解し前向きに取り組む	2
		用具・筆の持ち方・点画の用筆	点画の用筆を理解し取り組む	2
		楷書・行書の基本	楷書・行書の基本を会得する	2
	5	古典作品・臨書	古典作品について考察し理解する	2
		九成宮醴泉銘・背勢	背勢を理解し会得する	4
		孔子廟堂碑・やや向勢	向勢を理解し会得する	3
	6	顔氏家廟碑・向勢	重心感を理解し会得する	3
		鄭義下碑 蔵鋒・円筆	蔵鋒・円筆を理解し会得する	2
		牛橛造像記 露鋒・方筆	露鋒・方筆を理解し会得する	2
				2
1 後	7	豊かな表現力と観賞力 作品鑑賞	古典の特徴や技法にのっとって創作する 作品の鑑賞力をつける	4 2
	8	逆筆・波磔の理解	隷書の用筆法・運筆法を理解し会得する	2
	9	蘭亭序	蘭亭序を理解する	4
		俯仰法・双鉤てん墨	筆使い等を理解し会得する	2
2 前	10	漢字仮名交じり書について	漢字仮名交じり書を理解する	4
	11	題材の選定および表現の研究	作品の表現方法を理解する	4
		古典臨書	仮名の基本を理解し会得する	4
		漢字仮名交じり書の再構築	空間美を理解する	4
2 後	12	作品鑑賞会	他者の作品について客観的な評価をする	2
	1	ペン字	ペン字について理解し会得する	4
		空間処理について	空間処理を理解し表現する	2
	2	言葉選び	語彙の選別を行う	4
		自由課題	自己の作品表現を創作する	4
	3	作品としての完成を知る	自分の手で表装する	2

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】

基本的に毎回作品提出があり、自己研鑽の限界を求めて授業を進めます。

少ない練習でも中身の濃い作品を作り上げるよう、頭を使って理論的な組み立てをしていきます。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 I	単位数	3
		学年等	4

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付ける。
使用教科書 副教材等	DUAL SCOPE 総合英語 (数研出版) DUAL SCOPE English Grammar 27 (数研出版) Retelling Master (啓林館) Vintage 英文法・語法 (いっずな書店) DUAL SCOPE 英語総合演習 (数研出版) 英語の構文 80UPGRADED (美誠社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実際に英語を用いた言語活動を通して、小学校、中学校での学習内容について理解を深めるとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することができる	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	Lesson 1 ～ Lesson 6	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンステスト	・活動観察等 ・パフォーマンステスト
2 セメ	Lesson 7 ～ Lesson 10	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンステスト	・活動観察等 ・パフォーマンステスト

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ	4月 ～ 9月	L1 Ori Hime 時制 人生・生き方／スピーチ・学校生活 L2 Breakfast Makes Perfect 助動詞 食生活と健康／プレゼンテーション・家庭生活 L3 Cool Japan 受動態 日本文化／ライティング・家庭生活 L4 Save Our Planet 不定詞 環境問題／ディスカッション・学校生活・地域での活動 L5 Volunteer Work for What? 動名詞 ボランティア／ディベート・学校生活・地域での活動 L6 Another Life I Might Have Had 分詞 文学・読書／スピーチ・本を読むこと	60
2 セメ	10月 ～ 3月	L7 What Is Our Greatest Invention? 比較 サイエンス・発明／プレゼンテーション L8 Discover Japan 関係詞 都市・観光／ライティング・ L9 Urban Life or Rural Life 仮定法 交通・地域／ディスカッション L10 Music Without a Pianist 接続詞 芸術・テクノロジー／ディベート	60

5 その他

- ・「定期考査等」には各種提出物に関わる確認テストや単語などの小テストも含まれます。
- ・「活動観察等」には授業に取り組む態度や各種学習に対しての主体的な態度が含まれます。
- ・「4 指導の計画」における「単元及び学習内容」は学年の実態に合わせて適宜変更される可能性があります。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ	単位数	4単位
		学年等	4

1 学習の到達目標等

学習の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付ける。
使用教科書 副教材等	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I（東京書籍） ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II（東京書籍） ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I 本文学習ノート（東京書籍） ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II 本文学習ノート（東京書籍） 速読＋精読 2-Step Reading 標準編（数研出版） 速読＋精読 2-Step Reading 発展編（数研出版） ALL EARS BASIC 改訂版 山岡憲史（美誠社） ALL EARS STANDARD 改訂版（美誠社） UNITE 英語総合問題集 STAGE 2.5（数研出版） UNITE 英語総合問題集 STAGE 3（数研出版） 英単語ターゲット1900（旺文社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	Unit 1 ～ Unit 4	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンステスト	・活動観察等 ・パフォーマンステスト
2 セメ	Unit 5 ～ Unit 8	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンステスト	・活動観察等 ・パフォーマンステスト

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ	4月 ～ 9月	Unit 1 What can happen in one second? 〔題材内容〕 学校新聞の記事などを通して、1秒間に世界で起こっていることについて学ぶ。 〔言語材料〕 受け身／不定詞／動名詞 〔言語活動〕 1秒間にどのように世界が変化しているかを説明する。 〔言語の働き〕 聞き直す／回答する Unit 2 What do superstitions mean to you? 〔題材内容〕 記事などを通して、さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。 〔言語材料〕 助動詞＋受け身／現在完了進行形 〔言語活動〕 迷信についての自分の価値観を述べる。 〔言語の働き〕 驚く／興味や関心を表す Unit 3 How can we promote sustainability? 〔題材内容〕 Eメールのやり取りなどを通して、ゼロ・ウェイスト政策について学ぶ。 〔言語材料〕 分詞の形容詞用法／関係代名詞 〔言語活動〕 世界中で人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを説明する。 〔言語の働き〕 誘う／断る Unit 3 How can we promote sustainability? 〔題材内容〕 Eメールのやり取りなどを通して、ゼロ・ウェイスト政策について学ぶ。 〔言語材料〕 分詞の形容詞用法／関係代名詞 〔言語活動〕 世界中で人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを説明する。 〔言語の働き〕 誘う／断る Unit 4 What can we learn from native Hawaiians? 〔題材内容〕 博物館のパンフレットなどを通して、ハワイ語やハワイ文化について学ぶ。 〔言語材料〕 現在完了形の受け身／過去完了形 〔言語活動〕 自分にとって大切な言葉や文化について述べる。 〔言語の働き〕 迷いを伝える／アドバイスする	70
2 セメ	10月 ～ 3月	Unit 5 Why do people tell each other stories? 〔題材内容〕 ウェブの記事などを通して、体験したことを聞き手に語る際の秘訣を学ぶ。 〔言語材料〕 SVOC[分詞]／関係副詞 how／助動詞の過去形 〔言語活動〕 互いに話を伝え合う理由を述べる。 〔言語の働き〕 心配事を伝える／援助を申し出る Unit 6 What are the qualities of a good leader? 〔題材内容〕 伝記などを通して、優れたリーダーシップをもつ人物の経歴を学ぶ。 〔言語材料〕 分詞構文／関係副詞 where [when/why] 〔言語活動〕 優れたリーダーが備えている資質を説明する。 〔言語の働き〕 返答する／相づちを打つ	70

	Unit 7 Where will you live in the future? 【題材内容】 今住んでいる場所を選んだ理由やそこでの暮らしの魅力について学ぶ。 【言語材料】 原形不定詞／仮定法過去完了／過去完了進行形 【言語活動】 人々がどのような理由で住む場所を決めているのかを説明する。 【言語の働き】 反論する／同意する Unit 8 How do cultures and traditions affect teens' lives? 【題材内容】 ウェブの記事などを通して、世界中のさまざまな成人の儀式について学ぶ。 【言語材料】 関係代名詞 what／関係代名詞の非制限用法 【言語活動】 日常生活について、外国人と自分との類似点や相違点を説明する。 【言語の働き】 習慣を表す／共感する Unit 8 終了後は5年英語コミュニケーションⅡの内容に移行する。	
--	---	--

5 その他

- ・「定期考査等」には各種提出物に関わる確認テストや単語などの小テストも含まれます。
- ・「活動観察等」には授業に取り組む態度や各種学習に対しての主体的な態度が含まれます。
- ・「4 指導の計画」における「単元及び学習内容」は学年の実態に合わせて適宜変更される可能性があります。
- ・前年度の学習(先取り学習)の進度によって、英語コミュニケーションⅡの内容への移行時期が異なります。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭基礎	単位数	2
		学年等	4 年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
使用教科書 副教材等	「高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる」(第一学習社) 大改訂最新生活ハンドブック 資料&成分表(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 セ メ	・これからの生き方と家族 ・次世代をはぐくむ ・充実した生涯へ ・衣生活をつくる	・定期考査等 ・衣生活実習	・定期考査等 ・ワークシート ・パフォーマンス課題 ・授業中の行動観察	・実習ワークシートの記述分析 ・パフォーマンス課題 ・夏課題
	評価点	100	100	100
二 セ メ	・経済生活をつくる ・食生活をつくる ・住生活をつくる	・定期考査等 ・技能試験	・定期考査等 ・ワークシート ・パフォーマンス課題 ・授業中の行動観察	・実習ワークシートの記述分析 ・パフォーマンス課題
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
一 セ メ	4	【これからの生き方と家族】 生涯の生活設計、 家族・家庭と社会とのかかわり	8
	5	【次世代をはぐくむ】	10
	6	子どもの発達、	
	7	子どもの生活、 子育て支援と福祉	
	8	【充実した生涯へ】 超高齢社会を生きる	6
	9	【衣生活をつくる】 人の一生と被服、 被服材料と管理、 これからの衣生活 第2回考查	10
二 セ メ	10	【経済生活をつくる】	8
	11	私たちの暮らしと経済、消費者問題を考える、持続可能な社会を目指して	20
	12	【食生活をつくる】	
	1	人の一生と食事、栄養と食品	
	2	食生活の安全のために 食生活をデザインする	8
	3	【住生活をつくる】 人の一生と住まい、住生活の計画と選択 第4回考查	

5 その他

- 学習内容を実生活と関連づけ、生活を主体的に創造する力を養います。
- ICT を使用し、主体的な問題解決学習を行います。
- 実験・実習では実技テストを行う場合があります。